

## 令和8年度当初予算案における主要な施策

部 局 名
県 土 整 備 部

# 新規事業及び重要事業総括表

## I 総額

### 【一般会計】

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	127,247,152千円	119,920,712千円	6.1%
一般会計構成比	5.2%	5.4%	—

### 【用地事業特別会計】

区分	令和8年度	令和7年度	伸び率
予算総額	4,982,474千円	5,721,102千円	△12.9%

### 【公共事業の状況】

区分	令和8年度	令和7年度	増減額	伸び率
道路	67,704,085千円	64,691,402千円	3,012,683千円	4.7%
河川	27,641,211千円	28,460,448千円	△819,237千円	△2.9%
直轄	10,105,000千円	10,105,000千円	0千円	0.0%
合計	105,450,296千円	103,256,850千円	2,193,446千円	2.1%
(直轄除く)	95,345,296千円	93,151,850千円	2,193,446千円	2.4%

# 新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

## Ⅱ 主な新規事業及び重要施策

### 1 災害に強い県土づくり

P 5	一部新規	流域治水対策の推進	【河川砂防課】	14,354,509
P 6		ミッシングリンクの解消による道路網の多重化	【道路街路課】	4,299,587
P 7		橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強	【県土整備政策課・道路街路課・道路環境課】	19,163,866
P 8		市街地の強靱化のための無電柱化スピードアップ	【道路環境課・道路街路課】	5,074,212
P 9	新規	ドローンの更なる活用～空守（そらもり）プロジェクト～	【県土整備政策課】	17,000

### 2 生活の質を高める県土づくり

P 10		暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備	【道路街路課・道路環境課】	3,842,840
P 11		円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進	【道路街路課】	653,800
P 12		安全・安心を確保するための道路の維持管理	【道路環境課】	16,215,469
P 13		インフラ管理におけるDXの推進	【県土整備政策課・道路環境課・河川環境課】	350,588
P 14	新規	地下インフラのデータベース化の推進	【道路環境課】	110,000
P 15		河川・砂防施設の管理徹底、強化	【河川環境課・河川砂防課】	19,095,878

# 新規事業及び重要事業総括表

(単位 千円)

## 3 地域の良さを活かす県土づくり

P16	直轄事業と連携した骨太の道づくり	【道路街路課】	4,647,529
P17	産業拠点を支えるインフラ整備	【道路街路課】	1,832,000
P18	鉄道高架で踏切ゼロ!の推進	【道路街路課】	4,232,075
P19	地域に開かれたかわまちづくり	【河川環境課】	1,133,400

### 〈参考〉

P20	埼玉版スーパー・シティプロジェクト 市町村と連携して実施する事業	【道路街路課・道路環境課・河川環境課】	1,453,000
-----	----------------------------------	---------------------	-----------

# 流域治水対策の推進

【予算額】14,354,509千円

一部新規

担当 河川砂防課 荒川中流・小山川流域担当、荒川上流域・砂防担当  
防災担当、計画調査・流域治水担当  
内線 5138、5141、5137、5162

## 目的

河川施設、砂防関係施設の整備を加速化し「防災力」を強化するとともに、河川防災情報の拡充や洪水予報河川の拡大など「減災力」を高めることで、「流域治水」を推進し、レジリエントな社会の実現を目指す。

## 事業概要

### 1 河川・砂防関係施設の整備 14,234,509千円

- (1) 河川施設整備の加速化 12,661,699千円  
河道や調節池、排水機場の整備を計画的に推進し、治水安全度の向上を図る。
- (2) いのちとくらしを守る土砂災害対策 1,572,810千円  
砂防関係施設の整備を計画的に推進し、土砂災害を防止することで地域の安全確保を図る。

### 2 水害に備えるためのソフト対策 120,000千円

- (1) 洪水予報河川の拡大・河川情報の充実 115,000千円  
洪水予報河川を拡大し、県民への円滑な情報発信と避難行動を実現する。  
被災箇所や水防上重要な箇所に水位計、河川監視カメラを設置し、河川情報の更なる充実、発信を図る。
- (2) 流域治水の自分事化の推進 (新規) 5,000千円  
流域治水を知る機会を創出するための教材動画を制作し、防災教育やイベント等の機会、県ホームページを通じて周知を行い、あらゆる関係者が協働で取り組む「流域治水」を推進する。



教材動画 (イメージ)

# ミッシングリンクの解消による道路網の多重化

【予算額】4, 299, 587千円

担当 道路街路課 県道担当、国道担当、街路担当  
内線 875074

## 目的

隣接都県を繋ぐ幹線道路網を多重化することにより、円滑な交通を確保し、「人や物の交流」の活性化を図るとともに、災害発生時には、代替ルートの確保により、迅速な避難や救援物資等の円滑な輸送等、「災害に強い県土」の形成を図る。

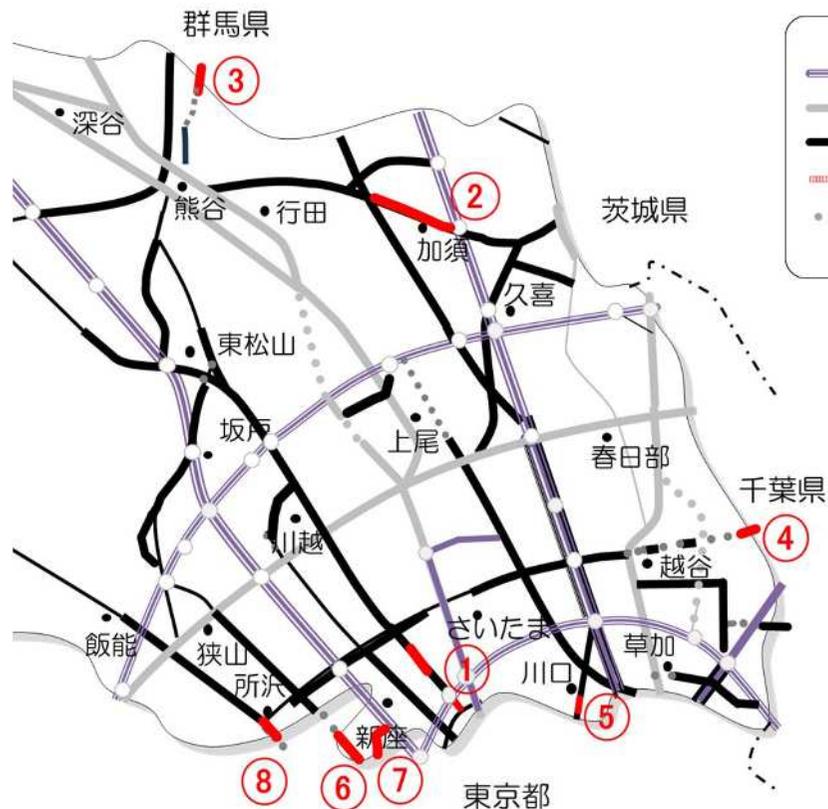
## 事業概要

### 1 ミッシングリンクの解消による道路網の多重化

4, 299, 587千円

#### (1) 隣接する都県を繋ぐ幹線道路におけるミッシングリンクの解消 4, 299, 587千円

隣接都県と繋がる幹線道路の未接続箇所の解消や暫定2車線区間の多車線化などを8路線11箇所を実施する。



凡 例	
	高速道路
	国等管理道路
	県管理道路
	対象路線
	事業中または計画路線

No	路線	市町村	工区
①	国道254号	和光富士見バイパス 和光バイパス	朝霞市・志木市 和光市
②	国道125号	加須羽生バイパス	加須市・羽生市
③	熊谷館林線	利根川新橋	熊谷市
④	越谷野田線	野田橋	松伏町
⑤	国道122号 ((都)日光東京線)	本町ロータリー 上之橋	川口市 川口市
⑥	(都)放射7号線	栗原・新堀	新座市
⑦	(都)保谷朝霞線	野寺・道場	新座市
⑧	(都)飯能所沢線	3工区 4工区	所沢市 所沢市



整備前状況 (暫定2車線)  
国道125号 (加須羽生バイパス)



整備後状況 (4車線)  
国道125号 (加須羽生バイパス)

担当 県土整備政策課 政策担当  
 道路街路課 橋りょう担当  
 道路環境課 防災担当  
 内線 875018、875068、875107

### 目的

埼玉県が管理する橋りょうの多くが高度経済成長期に建設され、老朽化に伴い多くの維持管理費を要している。道路機能の安全性と信頼性を持続的に確保するため、橋りょうの計画的な点検・修繕・更新を行うとともに、大規模地震の発生に備え、耐震補強を進める。

### 事業概要

#### 1 橋りょうの計画的な点検・修繕・更新及び耐震補強 19, 163, 866千円

##### (1) 着実な点検の実施 618, 000千円

- ・橋りょうの劣化の進行状況や補修の必要性を把握するため、5年に1回の定期点検を行う。
- 点検実施箇所 645橋

##### (2) 修繕及び更新の実施 9, 264, 866千円

- ・橋りょうの安全性を確保するため、橋りょう保全計画に基づき、橋りょうの修繕（維持補修）や更新（架換え）を行う。
- 修繕（維持補修）：川越栗橋線（六万部橋）など131箇所
- 更新（架換え）：国道463号（建武橋）など26箇所

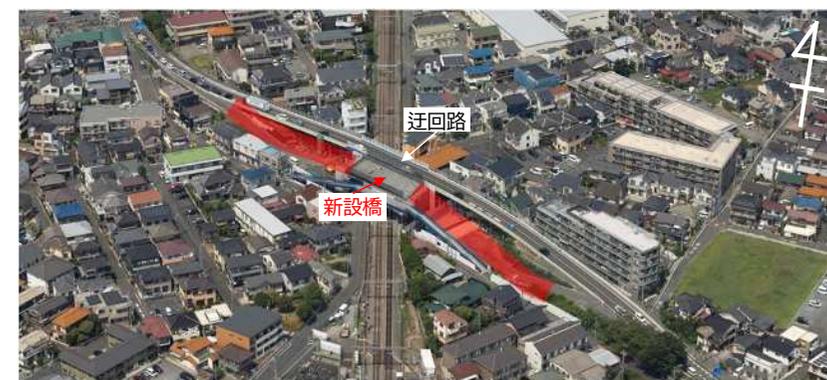
##### (3) 耐震補強の実施 9, 281, 000千円

- ・大規模地震の発生に備え、耐震補強を行う。
- 川越坂戸毛呂山線（坂戸入西大橋）など28箇所



劣化状況（橋桁の損傷）

橋りょう修繕工事  
 国道299号（横瀬橋）



橋りょう架換え工事  
 国道463号（建武橋）

# 市街地の強靱化のための無電柱化スピードアップ

【予算額】5,074,212千円

担当 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
 道路街路課 街路担当  
 交通安全施設整備担当

内線 875098、875056、875086

## 目的

大地震や台風等の災害時に電柱倒壊や断線等により道路が閉塞することで想定される避難や救急活動への支障、停電や通信障害のリスクの軽減を図るため、無電柱化を推進する。

## 事業概要

1 『第2次埼玉県無電柱化推進計画(令和4年7月策定)』に基づく無電柱化事業の推進 5,074,212千円

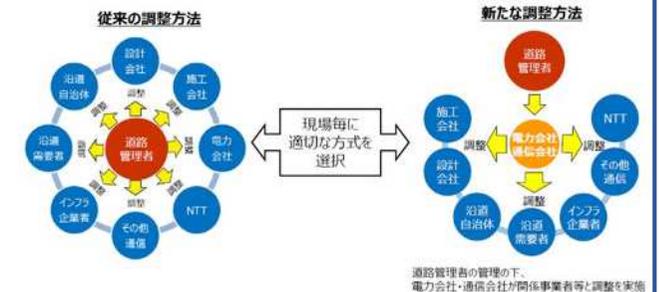
(1) 『脱・電柱社会』の実現に向けた無電柱化事業の推進 5,074,212千円

防災性の向上の観点から、災害時の緊急車両等の通行空間を確保する緊急輸送道路において、無電柱化を推進する。

また、無電柱化により、安全で円滑な交通の確保や、景観形成及び観光振興の観点から高い効果が期待される道路についても整備を推進する。

無電柱化事業に関する調整から工事までを電線管理者へ包括的に委託し、事業の円滑な遂行を目的とした包括委託方式を積極的に活用し、無電柱化事業のスピードアップを図る。

《包括委託方式のイメージ》



出典：国土交通省における無電柱化の取り組みについて

### 〔実施箇所〕

川口上尾線など33路線35箇所

### 〔大地震等の災害時写真〕



能登半島地震による被害



突風による電柱倒壊  
(越谷市)

### 〔無電柱化の整備箇所写真〕



無電柱化の整備箇所  
(都) 中央通線 (秩父市)



無電柱化の整備箇所  
(都) 中央通停車場線 (志木市)

新規

担当 県土整備政策課 政策担当  
内線 875018

### 目的

災害時の情報伝達などにおけるドローンの更なる活用のため、機体の更新及び操縦者の育成を図る。

### 事業概要

#### 1 ドローンの更なる活用 17,000千円

##### (1) ドローン機体の更新 (新規) 13,000千円

ドローンの機体を更新することにより、耐風、防塵防水性能等を向上させ、飛行機会の拡大を目指す。



ドローンの更新  
(イメージ)



##### (2) 操縦者の育成 (より高度な飛行条件に対応する技術者の育成 (新規) 4,000千円)

飛行技術習得のための講習会を開催し、ドローンの法令知識、目視外飛行などの応用的な飛行技術の習得を目指す。

現場と本庁、地域機関で  
リアルタイム情報共有



操縦者の育成 (講習会、訓練イメージ)



ドローンの活用(イメージ)

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当  
 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
 内線 875097、875098

目 的

埼玉県における令和7年の交通事故死者数は125人(全国ワースト4位)を数え、依然として高い状況にある。交通事故死者数のうち歩行者の占める割合が3割以上と最も高く、歩行者に対する交通安全対策が喫緊の課題となっていることから、歩行者と自動車を分離する歩道整備を進める。  
 また、自転車事故死者数については、埼玉県では全体の2割を占めており、例年全国ワースト上位に位置しているため、安全で快適な自転車通行空間の整備を推進する。

事業概要

1 暮らしの安全安心を支える歩道や自転車通行空間の整備 3,842,840千円

(1) 暮らしの安全安心を支える歩道整備の推進 3,692,840千円

児童を中心とした歩行者の安全を確保するため、通学路及び未就学児の移動経路を優先して、歩道整備を進める。  
 (実施箇所：ときがわ坂戸線など100箇所)

(2) 安全で快適な自転車通行空間の創出 150,000千円

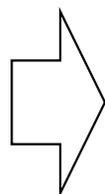
第2次埼玉県自転車活用推進計画に基づき安全で快適な自転車通行空間を創出する。  
 (実施箇所：練馬川口線など6箇所)

○ 整備例

・ 歩道整備 (さいたま鳩ヶ谷線：川口市)



整備前



整備後

・ 自転車通行空間整備 (越谷八潮線：越谷市)



整備前



整備後

担当 道路街路課 交通安全施設整備担当  
内線 875097

## 目的

埼玉県内の交通事故の約6割が交差点及びその付近で発生しており、右折帯のない交差点では交通渋滞が発生している。交差点整備を実施した箇所では、交通事故件数が約3割、最大渋滞長が約6割減少するという効果が得られている。引き続き、交通事故の減少や交通渋滞の緩和を図るため、交差点整備を進める。

## 事業概要

### 1 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 653,800千円

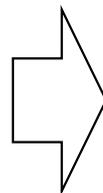
#### (1) 円滑な交通と安全を確保する交差点整備の推進 653,800千円

交通事故が多く発生している交差点や最大渋滞長100m以上、最大通過時間2分以上の交差点などから整備箇所を選定し、右折帯や右折避譲帯などの交差点整備を推進する。  
(実施箇所：川越所沢線など29箇所)

#### ○ 整備例 交差点整備（さいたま菖蒲線：蓮田市）



整備前



整備後

担当 道路環境課 補修担当  
内線 875105

## 目 的

道路は、県民の生活を支える重要かつ身近なインフラであることから、適切な維持管理を行い、道路利用者や周辺住民の安全・安心を確保する。

## 事業概要

### 1 道路交通の安全確保、道路利用者及び沿道移住者の生活環境の保全 16,215,469千円

#### (1) 舗装の維持管理 10,884,800千円

安全で円滑な交通を確保するため、ひび割れ率など舗装の健全度を考慮した計画的な修繕と、突発的に発生した穴等の応急的な補修を効率的に組み合わせて実施する。

また、舗装の長寿命化を踏まえ、舗装表面だけでなく路盤等も含めた修繕も実施する。

(舗装指定修繕実施箇所：深谷嵐山線など207箇所)



舗装の修繕



#### (2) その他の道路の維持管理 5,153,369千円

雑草の刈払いや街路樹の剪定、交通の支障物の除去を実施し、安全・安心で快適な道路空間を確保する。また、道路の通行環境を改善するため、雑草繁茂箇所に対し、防草対策を実施する。

そのほか、側溝新設や清掃などの道路冠水対策や降雪時の除雪を行い、災害時における道路交通機能の確保にも努める。

(防草対策実施箇所：国道125号など48箇所)



道路の防草対策



#### (3) 地中レーダーを用いた路面下空洞調査 177,300千円

道路パトロールによる日常的な道路の巡視に加えて、地中レーダーを用いて、路面陥没につながる路面下の空洞の発見や修繕を実施する。

(路面下空洞調査実施箇所：国道140号など41路線)



路面下空洞調査状況 (一次)



路面下空洞調査状況 (二次)

担当 県土整備政策課 建設DX推進担当 内線 875199 河川環境課 総務・管理担当 内線 5133  
 道路環境課 補修担当 内線 875105 河川維持担当 内線 5114

### 目的

公共インフラの品質確保、機能維持のため、デジタル技術を活用し、シームレスな建設生産プロセスへの変革を目指す。

### 事業概要

#### 1 インフラ建設管理におけるDXの推進 88,938千円

##### (1) GISインフラデータ活用基盤運用・保守 69,626千円

3次元点群データを始めとする、様々なインフラデータを一元化し、地図上から簡単にデータを検索、ダウンロードできるGISについて、データ更新、安定的な運用、改善を行う。

##### (2) 電子納品保管管理システム保守・運用等 19,312千円

工事や業務委託の電子成果物を保管、管理するための電子納品保管管理システムの安定的運用とシステムの改善等を行う。



インフラデータを地図上から検索

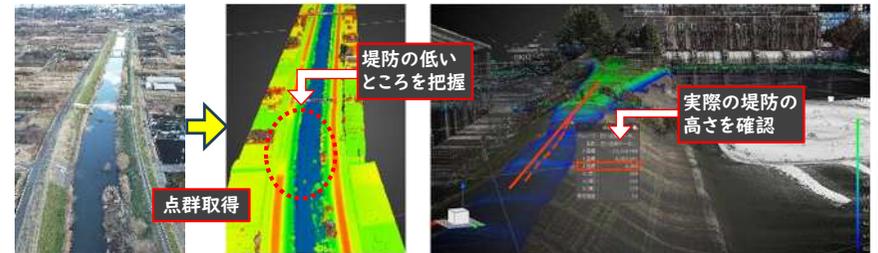


点群データをオープンデータ化

#### 2 i-Constructionの推進 240,000千円

##### (1) 3次元点群測量（河川） 240,000千円

高築堤河川等の重要度の高い河川の3次元点群データを取得し、設計業務や維持管理等に活用する。



河川点群の活用イメージ

#### 3 インフラ日常管理DXの推進 21,650千円

##### (1) インフラ日常管理DXの推進（道路） 12,525千円

##### (2) インフラ日常管理DXの推進（河川） 9,125千円

インフラ日常管理（道路、河川）の「情報の一元管理」「迅速な情報連携」「情報の見える化」を図るため、道路・河川管理を支援するアプリの保守・運用を行う。



リアルタイムで情報共有、情報の一元管理、報告書等を自動作成  
 アプリのイメージ

**新規**

担当 道路環境課 道路環境担当  
 総務・管理担当  
 内線 875103、875101

## 目的

埼玉県が管理する全ての道路において、地下インフラ情報が一元的に管理され、「道路管理者」と「占有事業者」が、平時から効率的に利活用するとともに、災害や事故等発生時において迅速に情報共有できる環境を実現する。

## 事業概要

### 1 新たな道路管理システムによる道路占用情報の一元管理 110,000千円

#### (1) 新たな道路管理システムの利用 (新規) 30,000千円

国が開発予定の『道路占用関連システム』について、大規模下水道施設等が敷設されている県南の事務所\*を対象に利用開始する。

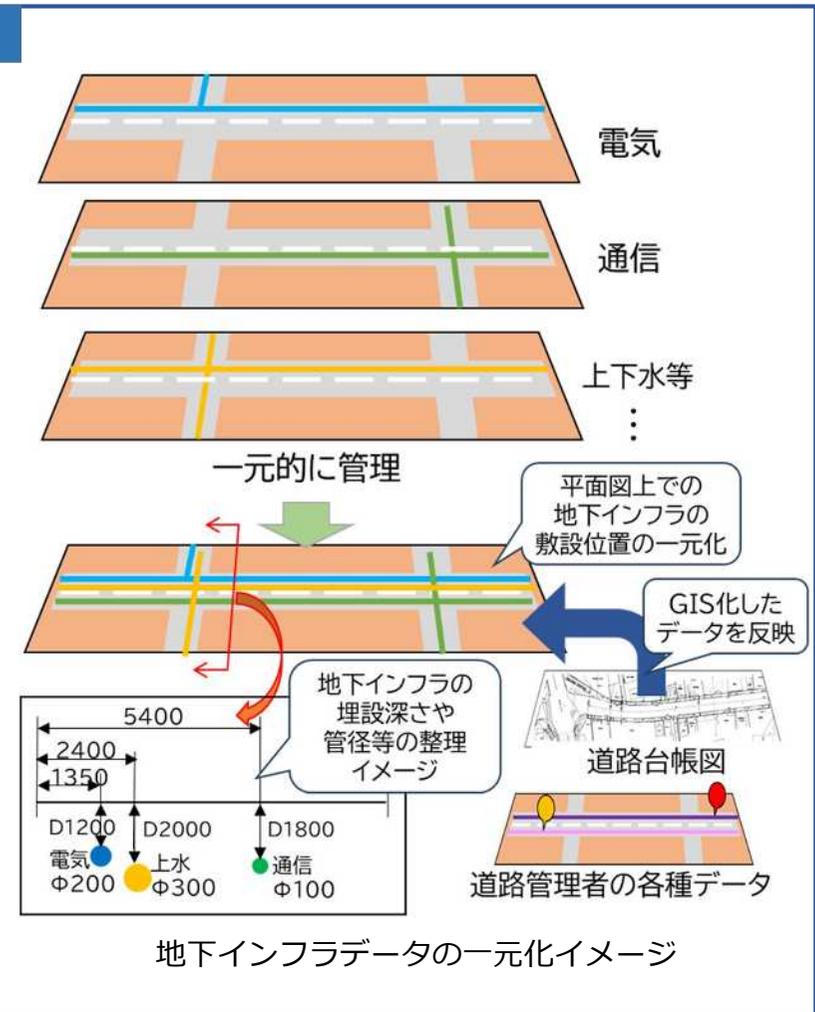
\*越谷県土整備事務所、さいたま県土整備事務所、朝霞県土整備事務所の3事務所を想定

#### (2) 道路台帳図データのGIS化 (新規) 50,000千円

1枚あたり約200m区間の道路情報を表記している「道路台帳図」をシステムの中で連続的な基盤図として活用できるようにするため、道路台帳図に付与されている位置情報(XY座標)をもとに、電子化(GIS化)を行う。

#### (3) 道路管理者が保有、調査した各種データのGIS化 (新規) 30,000千円

これまでに実施した路面下空洞調査結果や陥没発生履歴等について、XY座標を付与し、調査区間は「線」、空洞検知箇所や陥没発生箇所は「点」としてシステム上で扱える形式にデータ化する。



担当 河川環境課 河川維持担当 ダム管理担当 河川設備担当  
 河川砂防課 荒川上流域・砂防担当  
 内線 5114、5116、5141

### 目的

出水時に河川管理施設としての機能を発揮するために、異常・損傷状況の把握と迅速な対応が必要であり、頻発化・激甚化する災害から県民の安心・安全を守るため、河川管理施設等の適正な維持管理を図る。  
 また、排水機場・ダム・砂防関係施設において、長寿命化計画に基づく計画的な機能維持などを図る。

### 事業概要

#### 1 河川・砂防施設の管理徹底、強化 19,095,878千円

##### (1) 適正な維持管理 8,424,978千円

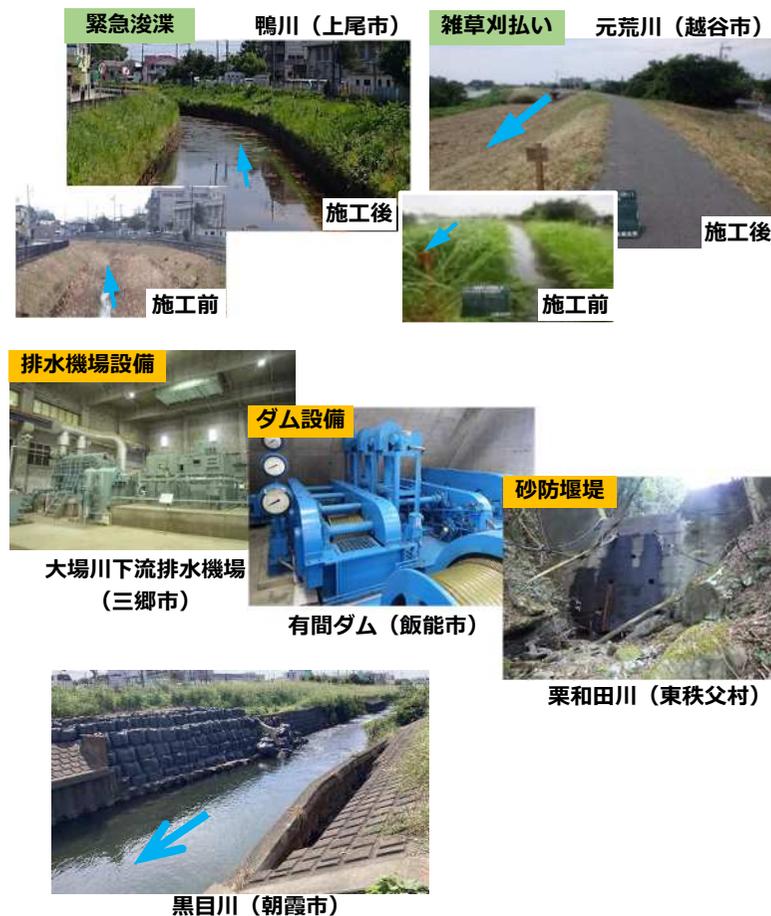
雑草刈払い後に点検を行い、堤防等の異常を発見し、弱体化を防止することで、施設機能を正常に保つ。  
 また、河道等において堆積土砂の撤去等を実施することで、適切な機能を回復させる。

##### (2) 長寿命化計画に基づく河川管理施設等の更新等 6,350,883千円

排水機場・ダム・砂防関係施設の更新・修繕を実施する。  
 また、耐震性を確保するために排水機場の耐震化を推進する。

##### (3) 河川管理施設等の修繕・更新 4,320,017千円

河川管理施設等の損傷個所の修繕や更新を行い、河川管理施設等の本来の機能を取り戻す。



# 直轄事業と連携した骨太の道づくり

【予算額】4,647,529千円(一部再掲)

担当 道路街路課 国道担当、県道担当、街路担当  
内線 875074

## 目的

直轄国道等を軸として繋がる道路を整備することで骨太の幹線道路網を形成し、企業立地の促進など地域経済の活性化のほか、災害発生時における輸送路のリダンダンシー確保による県土の強靱化を図る。

## 事業概要

### 1 直轄事業と連携した骨太の道づくり 4,647,529千円

#### (1) 直轄国道の整備と連携した県管理道路の整備推進 4,647,529千円

現在事業中の直轄国道に繋がる県管理道路や地域高規格道路（県施行）の整備を13路線16箇所で行う。



No	路線名	市町村	工区名
①	国道140号	秩父市	大滝トンネル 長尾根BP
②	国道254号	朝霞市、志木市 和光市	和光富士見BP 和光BP
③	さいたま鴻巣線	北本市	高尾
④	川越越生線	鶴ヶ島市	新川越越生
⑤	東松山鴻巣線	吉見町	久保田
⑥	上里鬼石線	上里町	神保原
⑦	本庄寄居線	本庄市	本町
⑧	越谷野田線	松伏町 松伏町	松伏西 田島
⑨	柿木町蒲生線	草加市・越谷市	
⑩	越谷流山線	三郷市、吉川市	半田
⑪	(都)浦和野田線	越谷市	元荒川
⑫	(都)三郷流山線	三郷市、吉川市	彦糸
⑬	蓮田白岡久喜線	蓮田市	蓮田SIC



整備状況  
越谷野田線(松伏町・田島)

担当 道路街路課 国道担当、県道担当  
内線 875074

目的

本県の交通の要衝としての魅力をさらに高めるため、産業拠点へのアクセス道路の整備を重点的に行い、円滑な交通を確保し、周辺の渋滞緩和や地域の振興を図る。

事業概要

1 産業拠点を支えるインフラ整備 1,832,000千円

(1) 産業拠点へのアクセス道路の整備 1,832,000千円

新たな産業団地の造成が予定されている箇所や既存の産業団地などへのアクセス道路整備を8路線8箇所を実施する。

○実施箇所例(東松山鴻巣線)

○事業実施箇所



No	路線	市町村	工区
①	東松山鴻巣線	吉見町	久保田
②	国道407号	鶴ヶ島市	鶴ヶ島日高BP
③	青山熊谷線	東松山市、熊谷市	岡・中曽根
④	熊谷羽生線	熊谷市	上之
⑤	深谷嵐山線	深谷市	上原
⑥	花園本庄線	深谷市	武蔵野
⑦	越谷野田線	松伏町	田島
⑧	行田蓮田線	蓮田市	下栢間



現道の渋滞状況  
東松山鴻巣線(吉見町内)

整備状況  
東松山鴻巣線(吉見町内)

担当 道路街路課 街路担当  
内線 875056

### 目的

春日部駅付近は、ピーク時1時間当たり40分以上遮断しているいわゆる「開かずの踏切」を含む複数の踏切が集中しており、交通渋滞や踏切事故、中心市街地の分断などの問題が生じている。

このような状況を解消するため、鉄道を高架化し、複数の踏切を除却することにより、走行時間の短縮や交通安全の確保はもとより、地域の賑わいの創出や沿線の利便性の向上などの効果発現を目指す。

### 事業概要

#### 1 鉄道高架で踏切ゼロ！の推進 4, 232, 075千円

##### (1) 連続立体交差事業費 4, 232, 075千円

東武鉄道伊勢崎線・野田線の春日部駅付近を高架化することにより、10箇所の踏切を除却する。

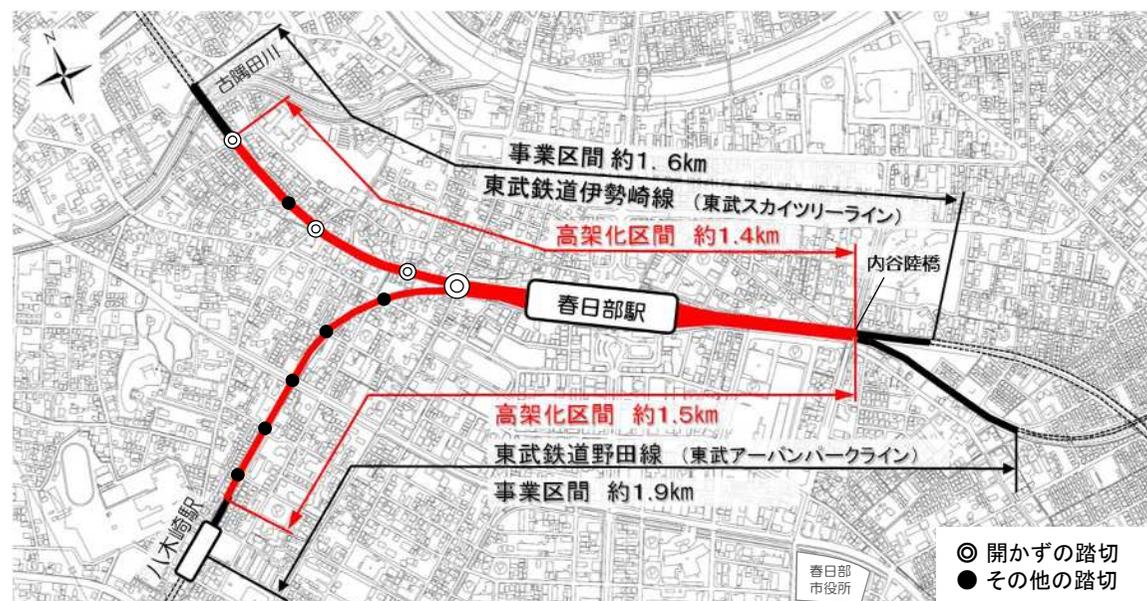
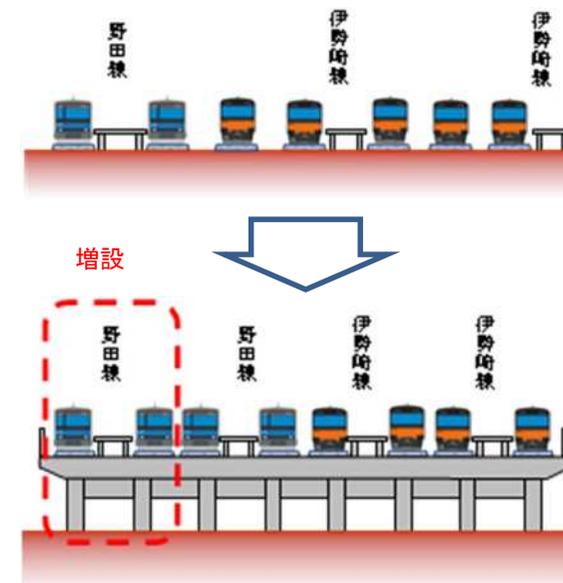
さらに、春日部市による駅周辺のまちづくりや鉄道事業者による鉄道機能の増強等を併せて行い、事業効果を最大限に発揮する。



線路移設作業



伊勢崎線仮下り線



担当 河川環境課 河川環境担当  
内線 5112

目 的

埼玉版SDGsの重点テーマの一つである「埼玉の豊かな水とみどりを守り育む」では、豊かな自然と共生しながら持続的に発展する埼玉の実現を目指している。「魅力的な水辺空間の保全・創出と良好な水環境の保全」の視点から、多様な主体と連携しながら河川空間の利活用を推進する「Next川の再生」に取り組む。

また埼玉版スーパーシティプロジェクトにおける市町村の地域まちづくり計画を踏まえ、市町村事業と連携した県事業の整備を進める。

事業概要

1 Next川の再生の推進

1,133,400千円

(1) 民間事業者等と連携した水辺空間の利活用（水辺deベンチャーチャレンジ）

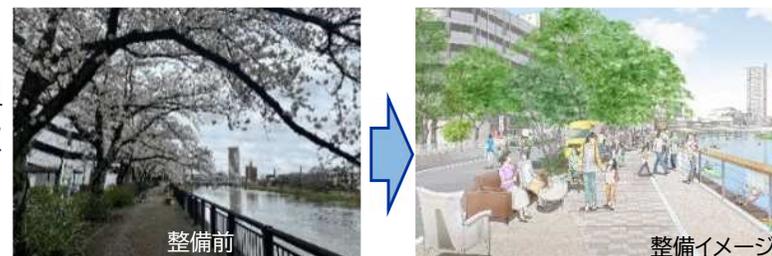
935,000千円

- ・ 企画段階から民間事業者との連携を強化し、より魅力ある水辺空間を創出
- ・ 大落古利根川／春日部など9箇所デッキ整備や詳細設計等を実施



(2) 自然や生物、景観に配慮した河川整備 74,000千円

- ・ 護岸等の修繕に合わせた、生物の生息に配慮した水際整備や景観に配慮した護岸整備により、地域に親しまれる水辺空間へ
- ・ 新河岸川／川越市など3箇所護岸修繕や詳細設計等を実施



大落古利根川／春日部市

(3) 地域活動と連携した堤防遊歩道の整備 124,400千円

- ・ 積極的な美化清掃活動などと連携して、活動支援のための河川管理施設の整備
- ・ 黒目川／朝霞市で遊歩道修繕を実施



黒目川／朝霞市

# 埼玉版スーパー・シティプロジェクト 市町村と連携して実施する事業【予算額】1,453,000千円(再掲)

担当 道路街路課 街路担当  
 交通安全施設整備担当  
 道路環境課 交通事故緊急対策担当  
 河川環境課 河川環境担当

内線 875056、875097、875098、5112

## 目的

埼玉版スーパー・シティプロジェクト市町村事業と連携して県事業を実施し、市町村のまちづくりを支援、加速化する。

## 事業概要

### 1 スーパー・シティまちづくり支援 県道整備 1,158,000千円

#### (1) ウォーカブルなまちづくりを支援する県道整備 457,000千円

- ・【県事業】無電柱化・美装化＋【市町村事業】駅前拠点施設等の整備、再開発などにより、居心地の良いウォーカブルなまちづくりを進め、中心市街地の賑わいを創出する。
- ・所沢市、本庄市、朝霞市、寄居町の3市1町で実施。

#### (2) 中心拠点基盤整備を支援する県道整備 701,000千円

- ・【県事業】県道の拡幅・交差点改良・無電柱化＋【市町村事業】中心拠点施設整備などにより、駅前や中心拠点施設、駅前通りを中心とした商店街の活性化、コンパクトな市街地づくりを推進する。
- ・志木市、桶川市、上里町、寄居町、杉戸町の2市3町で実施。

### 2 スーパー・シティまちづくり支援 水辺deベンチャーチャレンジ 295,000千円

#### (1) 水辺deベンチャーチャレンジの推進 295,000千円

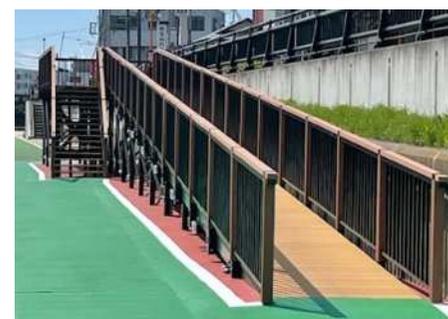
- ・【県事業】県管理河川の水辺整備 ＋【市町村事業】観光拠点整備  
 企画段階から民間事業者等と連携して河川管理施設を整備し、河川敷地の商業利用による地域活性化を推進する。
- ・日高市、小川町、横瀬町、杉戸町の1市3町でスロープや遊歩道整備等を実施。



県道の整備後(イメージ)



東武動物公園駅東口通り線周辺エリア



スロープ整備(イメージ)